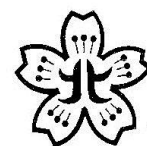


学 校
だより

や ま 桜

平成29年3月21日
南足柄市立北足柄小学校



今年度最後の 劇団まほのみなさんによる 読み聞かせ

3月2日(木)

3月2日(木)に、今年度最後の劇団まほのみなさんによる読み聞かせがありました。全校児童を対象に、エプロンシアターやパネルシアターなどで読み聞かせをしていただくと、子どもたちはじっと語り手に耳を傾けていました。

読み聞かせは 子どもたちが大好きなことのひとつです。そして、この読み聞かせには、いろいろな効果があるそうです。例えば、「1、情緒が豊かになる。」「2、言葉を覚える。」「3、表現力が豊かになる。」「4、想像力が身につく。」「5、字を覚える。」などです。

また、読み聞かせというと幼少の頃だけで、小学生になったら自分で・・・ということが一般的だといわれています。また、子どもの成長に合わせて、年齢に応じた内容の本、たとえば高学年で「世界名作集」や「伝記」などは、図書室で読もうとする子は多くないようです。でも、いろいろな偉人を名言と一緒に紹介している本などは、読み聞かせている大人でさえ洗脳(良い意味で)へと導いてくれるようです。あこがれや尊敬できる人物の生き方を学ぶことで、自分自身の生き方を見つめなおすことができると思います。私自身のことになりますが、子どもの頃、「野口英世」を読み聞かせてもらい、貧しさや障害にも負けなかった、その生き方に共感したことを覚えています。



お話しボランティアの皆様のおかげで、子どもたちは、学習時間や休み時間にも図書室へ行って、本を読むようになっていきます。中には、本を読むというよりも、安らぎの場になっている子もいるようです。それでも、読書タイムの時間に廊下を歩いていると、すべての教室が静寂な雰囲気の中で、全校の子どもたちが黙読している姿は、感動に値します。今回は、そんな劇団まほのみなさんへ感謝のお手紙をお渡ししました。また、後日、図書ボランティアの方々や図書司書の鹿熊さんにも、お礼の会を行いました。ありがとうございました。

「6年生を送る会」あかとうの気持ちを伝える

3月3日(金)



3月3日、6年生の卒業をお祝いし、感謝の気持ちを伝える「6年生を送る会」が5年生を中心になっておこないました。子どもたちは廊下や体育館にお祝いメッセージを掲示したり、グループ別にゲームで一緒に遊んだりして楽しく過ごしました。特に5年生は、計画段階から一生懸命取り組み、最上級生になるための心の準備をしました。各学年からの出し物は、6年生への思いをこめた歌や合奏とダンス・マジックショーがあり、これまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを言葉で伝えていきました。そして、在校生から6年生一人ひとりにメッセージを書いた色紙をグループごとにプレゼントしました。

6年生からは、在校生へ合奏曲と、手作りした雑巾を各学年へプレゼントしてくれました。いただいた雑巾で、いつまでもきれいな北足柄小学校に、みんなでしていきたいと思えます。

今年の「6年生を送る会」は、最後に参加者全員で「世界に一つだけの花」を歌って、全校の一人ひとりの笑顔が広がるすてきな時間となりました。卒業生は中学校に進む決意を新たに、在校生は1学年ずつ成長していくための心の準備をしています。卒業生も在校生も、これから学年末に向かってラストスパートです。

1年 恋ダンス



2年 あかとうの花



3年 とないのトトロ



4年 マジックショー



5年 悲しみなんて寝飛ばせ



あいがとう集会 暫金時隊や防犯パトロールの皆様

3月6日 (月)



3月6日(月)、暫金時隊と防犯パトロールの方々をお招きして、全校児童による「あいがとう集会」を兼ねて地区児童会を行いました。登校時に一緒に歩きながら、子どもたちの安全を見守っていただいたおかげで、今年もこれまで無事故で過ごすことができました。暫金時隊や防犯パトロールの方からも、「子どもたちが元気に挨拶をしてくれることが、とてもうれしいです。」とお話をしてく



ださいました。これからも地域の方々とのふれあいを大切にしていきたいと想います。本当にありがとうございました。

福祉会の方と学校をきれいに 卒業制作・整備作業 3月9日 (木)

3月9日(木)。今年も福祉会の方の協力をいただき、6年生が、卒業整備作業をおこないました。子どもたちは、6年



間過ごした学校をきれいにして卒業しようと、今年は、花壇のプレートづくり、タイヤのペンキ塗りと運動場周辺のフェンスの補修作業に取り組みました。フェンスに開いた穴を補修していただいたおかげで、外遊びの時にボールが飛び出すこともなくなりました。



毎年のことですが、地域と学校が共に連携を図る北足柄地区の伝統のひとつです。

旅立ちの日 卒業証書授与式 平成29年3月22日 (水)

卒業おめでとう



明日、3月22日(水)は、6年生8人が6年間の小学校の教育課程を修了し、卒業証書授与式を迎えます。卒業証書授与式は、多くの学校行事の中でも特別に大切な行事です。それは、入学してから6年間心をこめて、学習に生活にさまざまなことを教え育ててきた子どもたちを送り出す大切な日だからです。また、6年生の子どもたちが、多くの方々に見守られる中おこなわれる『小学校最後の授業』でもあります。在校生にとっても、6年生の後ろ姿から多くのことを学び、またこれからその伝統を引き継いでいこうと決意する日です。みんなで「卒業おめでとう」の精一杯の気持ちを、歌や言葉に、式全体にこめて、6年生の旅立ちを祝福したいと思います。

“こなな北っ子に” はきものがそろうと心がそろう

長野県にある円福寺の住職である藤本幸邦さんの詩に「はきものをそろえる」があります。禅の修業寺には、その入り口に「脚下照顧(きゃっかしょうこ)」という立て札があるそうですが、それは「自分の足元を見よ」「自分の行いを見よ」という意味だそうです。それを子どもにも分かるように、そして、いつも行動として身につくように考えたのが、この詩だといわれています。

この詩を解釈すると、「まず、自分の足元を見よ。履物が汚れていても気にならない人に自分の心は整えられない。自分自身を顧みなさい。自分の行いをよくみなさい。今、本当にしなければいけないことは何なのか。

自分ができることから取り組めば、おのずと先につながっていく。そして、誰かの履物が汚れていたら、黙ってそっとそろえてあげられるような人こそが、本当に思いやりのある人なのだ」となります。学校の下駄箱は、いつもそろえられています。

これからも、北っ子の心に、ずっと育ててほしいと願っています。

世界の中の人も心もそろってしょう
そっすれば きこ
だまて もんそおいてあこ
だれかが みだしておいたら
はきものが 心がみだれなこ
ぬくぬく ぬくぬく
はきものが 心がみだれなこ
はきものが 心がみだれなこ

平成28年度の教育活動がまもなく終わります。今年度も、保護者・地域の皆様には、さまざまな面でご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。平成29年度も学校評価等の結果を踏まえ、「わかる授業の創造」や「開かれた学校」を目指して、継続して取り組めますのでよろしくお願いいたします。